2026年11月6日

2027年3月期 第2四半期（中間期）

決算説明資料

佐藤食品工業株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場2814)

目次

1. 会社のプロフィール
2. 会社の沿革
3. 事業内容
4. 2027年3月期 中間期決算概要
    - 決算サマリー：損益計算書
    - 決算サマリー：品目別売上高
    - 決算サマリー：品目別売上高増減分析
    - 決算サマリー：貸借対照表
    - 決算サマリー：キャッシュフロー(CF)計算書
    - 2027年3月期　業績予想
    - 今後の取り組み
    - サステナビリティへの取り組み
5. 資料編

会社のプロフィール

新しい天然食品の創造と人類への貢献

2026年9月末現在

社名	佐藤食品工業株式会社
本社	愛知県小牧市堀の内四丁目154番地
代表者	代表取締役社長　上田　正博
設立	1954年10月21日
資本金	3,672百万円
売上高	6,832百万円(2026年3月期実績)
従業員数	165人



会社の沿革

- 1954年10月　有限会社佐藤食品工業所設立
- 1962年3月　佐藤食品工業株式会社に組織変更
- 1965年5月　粉末天然調味料の製造販売を開始
- 1966年11月　世界初のアルコール粉末化を発表
- 1980年4月　茶エキスの製造販売を開始
- 1999年10月　第二工場完成(茶エキス専門工場)
- 2006年5月　第三工場包装ライン・物流倉庫稼働
- 2011年1月　第三工場乾燥ライン稼働

事業内容



茶エキス

だれでも簡単
おいしいお茶

天然調味料

本物志向の香り





植物エキス

いつでも
フレッシュ

粉末酒

世界初の
パウダー



2027年3月期
中間期　決算概要

佐藤食品工業株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場2814)

決算サマリー：損益計算書

(単位：百万円)	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前年同期比		2027年3月期 中間期予想	対予想比	
			増減額	増減率		増減額	増減率
売　上　高	3,419	3,655	235	6.9%	3,424	231	6.8%
営 業 利 益	372	583	211	56.7%	218	365	167.0%
経 常 利 益	449	748	299	66.6%	308	439	142.4%
中間期純利益	390	510	119	30.7%	208	301	144.5%

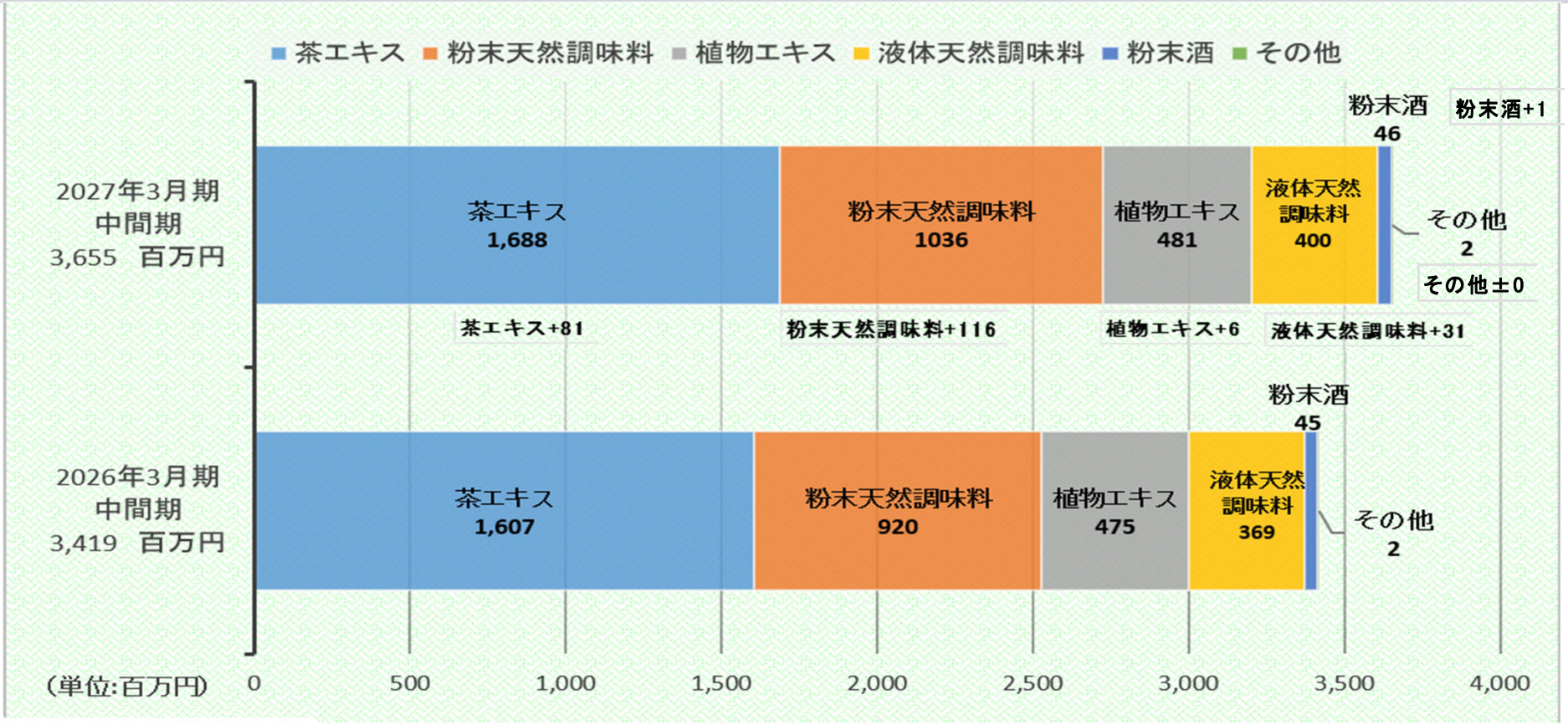
賃金の増加や雇用情勢の改善により個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、回復基調で推移しました。一方で、継続的な物価上昇による消費者マインドの低下に加え、全国各地で発生している自然災害や金融資本市場の変動、中東情勢の緊迫化による景気の下振れが懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当中間期実績は、茶エキスを中心に堅調に推移し、売上高、営業利益、経常利益、中間期純利益ともに前年実績を上回りました。

決算サマリー：品目別売上高

（単位：百万円）	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前年同期比	
	売上金額	売上金額	増減額	増減率
茶エキス	1,607	1,688	81	5.0%
粉末天然調味料	920	1,036	116	12.7%
植物エキス	475	481	6	1.3%
液体天然調味料	369	400	31	8.6%
粉末酒	45	46	1	1.0%
その他	2	2	0	1.0%
合計	3,419	3,655	235	6.9%

決算サマリー：品目別売上高増減分析



【品目別 売上高増減要因】

茶エキス	飲料需要やオフィス需要の増加 （麦茶エキス等が増加）	液体天然調味料	外食需要の継続 （昆布エキス等が増加）
粉末天然調味料	外食需要の継続 （粉末昆布・粉末椎茸等が増加）	粉末酒	製菓用途需要の増加 （ワインタイプ等が増加）
植物エキス	製菓用途需要の増加 （果実エキス等が増加）	その他	―

決算サマリー:貸借対照表

(単位：百万円)	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	前年同期比		主な要因
			増減額	増減率	
流　動　資　産	11,329	11,572	243	2.1%	現金及び預金の増加
固　定　資　産	10,413	13,245	2,831	27.2%	投資有価証券の増加
資　産　合　計	21,743	24,818	3,075	14.1%	-
流　動　負　債	1,763	1,761	▲ 2	▲ 0.1%	未払金等の減少
固　定　負　債	541	1,460	919	169.8%	繰延税金負債の増加
負　債　合　計	2,305	3,222	916	39.8%	-
純資産合計	19,437	21,596	2,158	11.1%	有価証券評価差額金の増加 中間純利益の計上
負債純資産合計	21,743	24,818	3,075	14.1%	-

決算サマリー：キャッシュフロー(CF)計算書

(単位：百万円)	2026年3月期 中間期実績	2027年3月期 中間期実績	増減額	主な要因
営　業　C　F	371	600	228	税引前中間純利益　746百万円 減価償却費　128百万円
投　資　C　F	▲ 1,252	▲ 477	775	投資有価証券の取得による支出　▲502百万円 有形固定資産の取得による支出　▲161百万円
財　務　C　F	▲ 687	▲ 103	583	配当金の支払額　▲108百万円
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,568	19	1,587	-
現金及び現金同等物の期首残高	9,722	8,443	▲ 1,279	-
現金及び現金同等物の期末残高	8,154	8,462	308	-

2027年3月期　業績予想

(単位：百万円)	2026年3月期実績	2027年3月期予想		前年同期比(2027年予想/2026年実績)	
		前回発表予想	修正予想	増減額	増減率
売上高	6,832	6,732	7,158	326	4.8%
営業利益	758	373	921	163	21.5%
経常利益	907	545	1,169	261	28.8%
当期純利益	736	368	802	65	8.9%

2027年3月期通期の業績予想につきましては、第2四半期（中間期）の実績を踏まえ、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益ともに前回発表予想を上回る見込みです。

今後の取り組み

経営理念

1 新しい天然食品の創造に向かって、独創的な技術開発を継続する

2 新しい天然食品加工分野を創造し、人類へ貢献する

安心安全

- 最新鋭の生産設備の活用
- 品質保証体制の更なる強化

生産性

- より利益を生み出しやすい体質作り
- 製造設備を更新し、自動化・省人化を推進

高付加価値

- 開発・製造・装置技術の体系化
- 組織的かつ提案型の営業活動

サステナビリティへの取り組み

佐藤食品工業株式会社　サステナビリティへの取り組み

重要課題	活動内容	具体的な取り組み	関連するSDGｓ
環　境	生産ロス低減 再生利用（未利用資源の活用）	・生産性向上を目標として、製造設備の自動化・省人化を推進するとともに不良品ロス、故障ロス、空転ロスなど生産ロス低減に取り組んでいます。 ・未利用資源を活用した製品開発を実施しています。	
気候変動への取り組み	省エネ CO2削減	・第二種エネルギー管理指定工場として、省エネ目標を設定し、地球温暖化対策（CO2削減）に取り組んでいます。	 
安全・安心な製品 及びサービスの提供	食文化の向上 独創的な食品の技術開発 環境保全	・経営理念である活動内容の実現に向け、環境マネジメントシステム（ISO14001）の運用、環境保全を通してリスク管理を実施しています。 ・衛生的な水を使用できる製造設備の管理及び排水管理による安全・安心な製品の提供を行っています。	 
人材の活用	人材育成 従業員の定着率向上 働きやすい環境づくり	・専門性の高い研修やOJT教育を実施しています。 ・育児や介護を含む休職者への復職支援や福利厚生制度の充実を図り、働きやすい環境をつくっています。	  

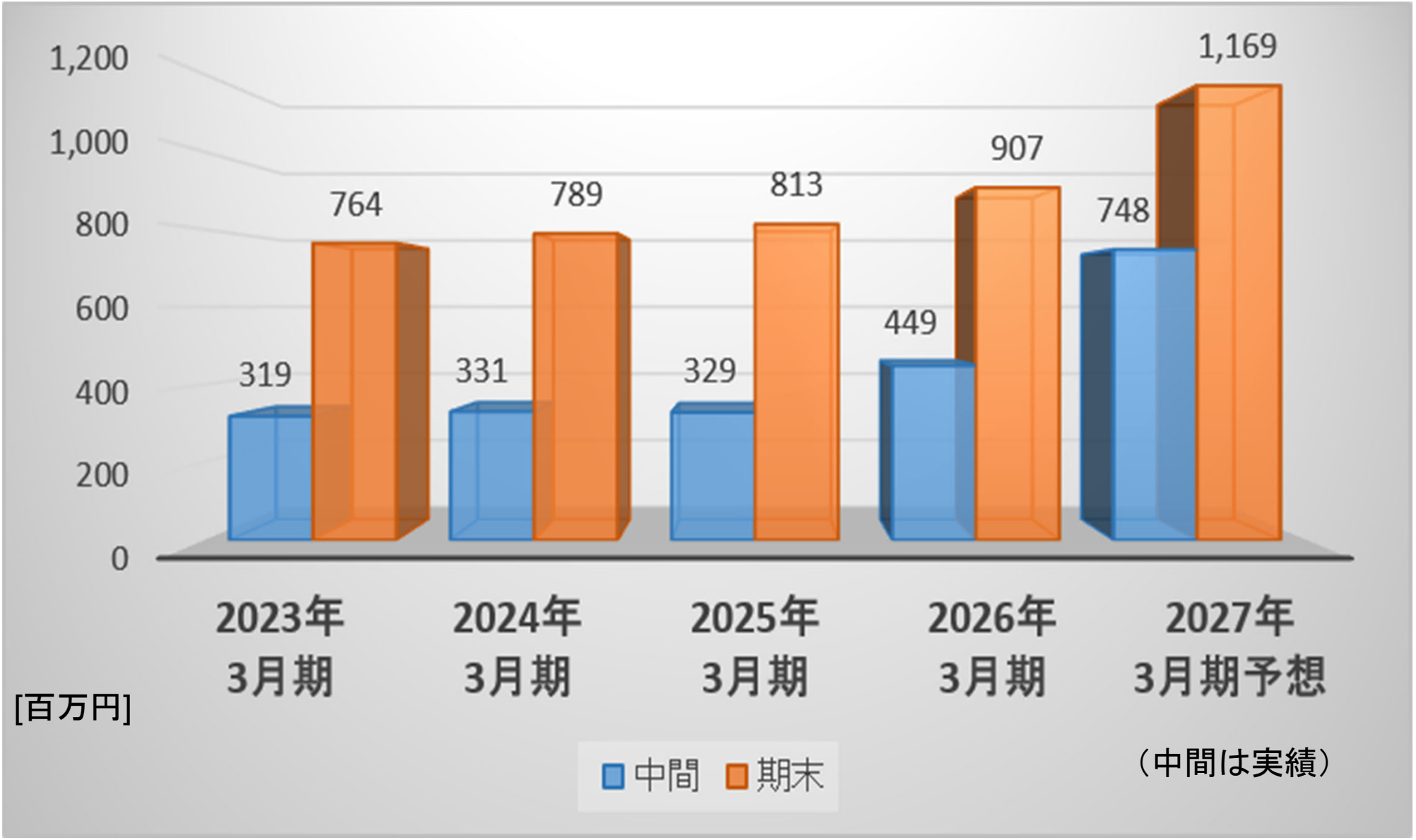
資料編

佐藤食品工業株式会社
(東京証券取引所スタンダード市場2814)

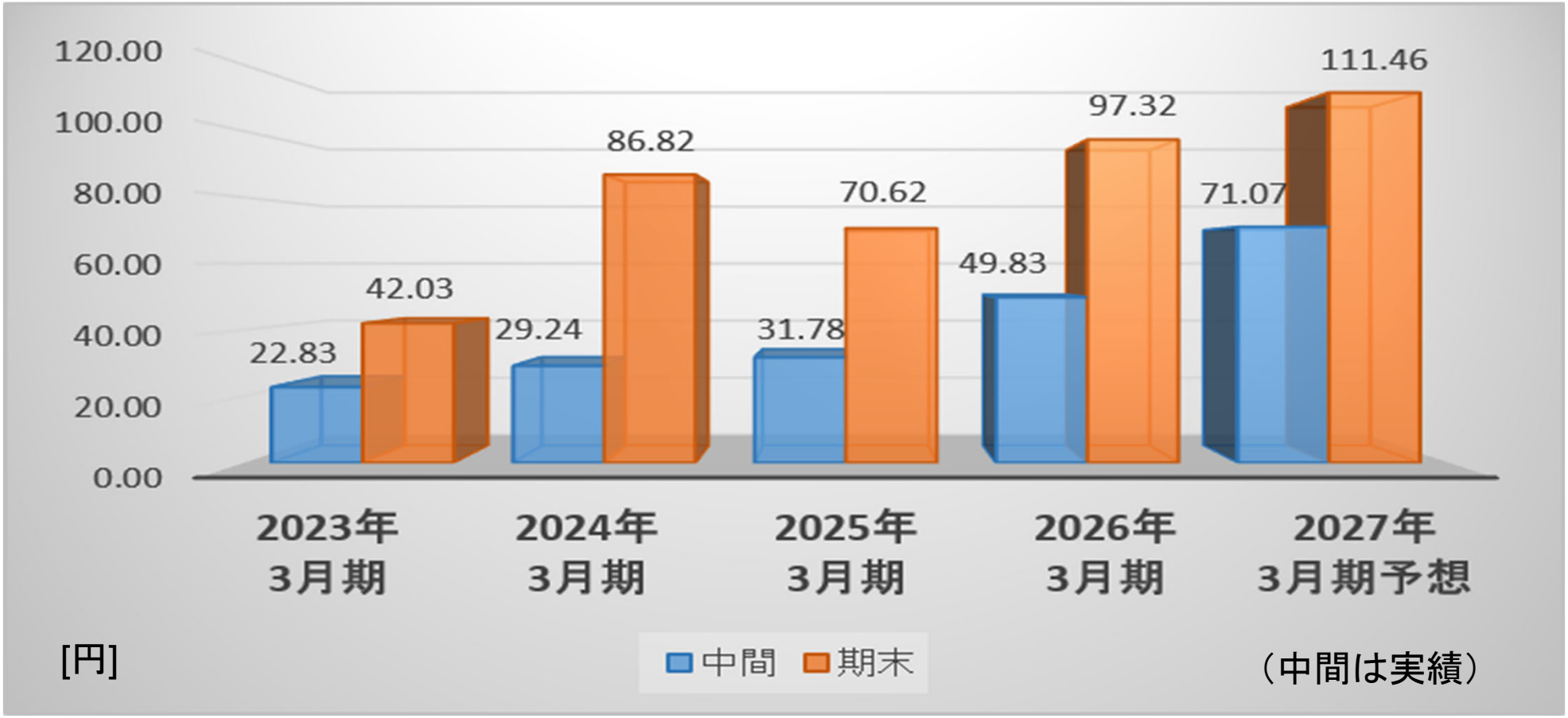
売上高の推移


8,000
7,000
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
2,789
5,881
2,934
6,101
3,108
6,360
3,419
6,832
3,655
7,158
2023年 3月期
2024年 3月期
2025年 3月期
2026年 3月期
2027年 3月期予想
[百万円]
中間
期末
（中間は実績）

経常利益の推移

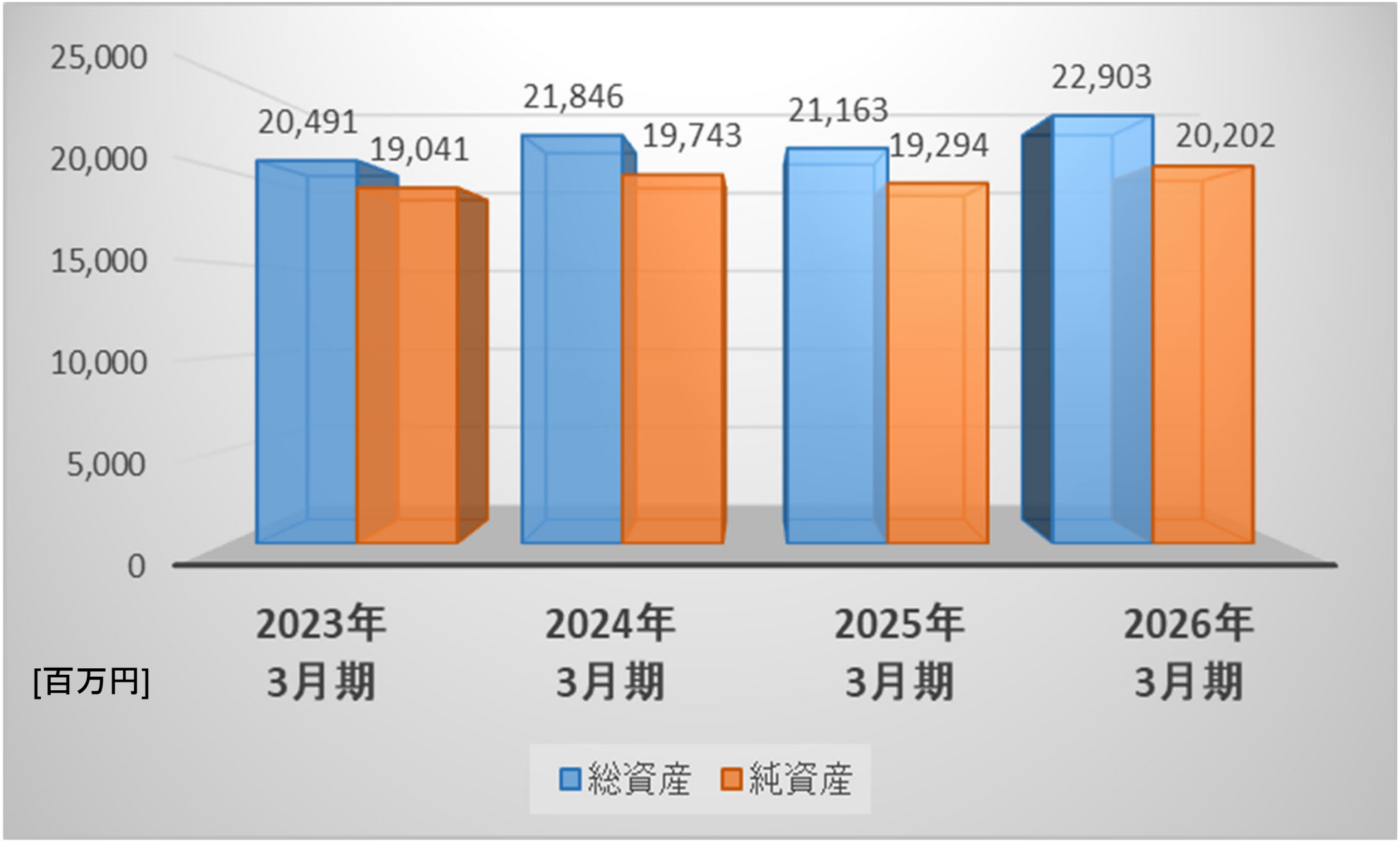

1,200
1,000
800
600
400
200
0
319
764
331
789
329
813
449
907
748
1,169
2023年
3月期
2024年
3月期
2025年
3月期
2026年
3月期
2027年
3月期予想
[百万円]
中間
期末
（中間は実績）

1株当たり当期（中間）純利益の推移



※2026年1月1日付で普通株式1株につき普通株式0.1株の割合で株式無償割当てを行っております。2023年3月期の期首に当該株式無償割当てが行われたと仮定して、1株当たり当期（中間）純利益を算定しております。また、2026年9月16日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期（中間）純利益を算定しております。

総資産･純資産の推移


25,000
20,000
15,000
10,000
5,000
0
20,491
19,041
21,846
19,743
21,163
19,294
22,903
20,202
2023年
3月期
2024年
3月期
2025年
3月期
2026年
3月期
[百万円]
総資産
純資産

1株当たり純資産の推移



※2026年1月1日付で普通株式1株につき普通株式0.1株の割合で株式無償割当てを行っております。2023年3月期の期首に当該株式無償割当てが行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。また、2026年9月16日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2023年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。